



平成20年3月14日

各 位

名古屋市中村区亀島二丁目13番8号  
明治電機工業株式会社  
代表取締役社長 安井善宏  
(コード番号: 3388)  
問合せ先: 専務取締役企画管理本部長  
伊藤秀則  
(TEL 052-451-7661)

## 第6次中期経営計画の策定に関するお知らせ

明治電機工業株式会社(代表取締役社長 安井善宏)は、平成20年3月14日の取締役会において、第6次中期経営計画を下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 【第6次中期経営計画の概要】

#### 1. 計画期間

平成20年4月1日～平成23年3月31日(3ヵ年)

#### 2. 基本的考え方

##### (1) 第5次中期経営計画を踏み台にした飛躍

・第5次中期経営計画で取り組んできた「エンジニアリングビジネスの強化」「ナレッジマネジメントビジネスの環境整備」「上場企業に相応しい体制整備」を土台として、営業力の強化を中心とした飛躍的成長を目指す。

##### (2) 業種別営業への挑戦

・「自動車」「セラミック」「電気・電子・半導体」「工作機械・産業機械」に係る業種別営業を全社展開する。

##### (3) 質的基盤の充実

・内部統制報告制度への的確な対応、IT戦略の抜本的改革、人材育成の強化、関連会社・パートナー企業との連携強化によるグループ力増強など質的基盤の充実に取り組む。

##### (4) 1000億円企業へのステップ

・1000億円企業規模を展望したステップとして、業種別営業による顧客基盤の拡充、海外事業の拡大、M&A・アライアンスの強化など企業の総合力向上に取り組む。

### 3. 基本事業戦略

#### (1) 業種別営業戦略

- ・現在展開している自動車業界に加え、セラミック、電気・電子・半導体、工作機械・産業機械についても業種営業を展開する。業種ごとに蓄えられたアプリケーション・ソリューションをお客様に提供し、戦略性の高い営業展開を行うことで、新たなる成長軌道を確立する。

#### (2) エンジニアリング事業戦略

- ・エンジニアリング事業本部において、強みである検査・計測・制御分野に更に特化し、高収益部門として利益の拡大を図る。また、自社製品の開発に努め、明治ブランドの拡充を図る。  
ソリューション事業本部においては、メーカー独自では構築できない組み合わせ技術によるマルチベンダー機能を駆使し、メーカー施策に左右されない組織として事業拡大を図る。また、両事業本部において蓄積された「ものづくりかるた」についても業種別営業展開の武器として積極活用する。

#### (3) 部材 200 億円事業戦略

- ・工作機械・産業機械・自動車部品（車載部品）に対し、重点的に開発部隊を投入し大幅な拡大を図る。同時に開発部隊による商材開発の横展開で電気・電子・半導体業界での実需アップを図る。

#### (4) グローバル戦略

- ・ターゲット市場としては、従来どおりトヨタ自動車株式会社を中心とする自動車業界であり、第1営業本部と連携し、グローバルなサポート体制を構築する。インライン計測・ビジョン関連等日本で成功したアプリケーションの提案・横展開に積極的に取り組み、受注拡大を図る。

#### (5) マーケティング戦略

- ・業種別営業体制への移行に伴い、SE体制を再編成し、商品スペシャリストによる戦略的業種別市場開発を行う。そして、客先・市場・技術動向を見据えた新たなる柱となる新メーカー・新商材を開発し、アプリケーションによる販売戦略を展開することにより、全国・海外へと事業領域の拡大を図る。

#### (6) その他戦略

- ・品質管理体制の構築
- ・業務ファクトリー体制の推進
- ・M&A、アライアンス戦略

### 4. 販売および財務計画

(百万円)

	平成 21 年 3 月期		平成 22 年 3 月期		平成 23 年 3 月期	
	国内	連結	国内	連結	国内	連結
売上高	59,000	61,544	63,000	65,800	71,500	75,000
営業利益	2,426	2,607	2,830	3,061	3,708	3,992
経常利益	2,594	2,803	3,016	3,273	3,883	4,192
当期純利益	1,474	1,608	1,749	1,913	2,252	2,449

	平成 23 年 3 月期 (連結)
売上高経常利益率	5.6%
株主資本当期利益率 (ROE)	13.1%
総資本当期利益率 (ROA)	7.0%
自己資本	187 億円
総資産	350 億円